

年度から同省の補助事業等を用いてスマート農業や農業ロボット、ドローン、IoT機器等を導入

③研究開発契約④データ提供のための契約⑤データ共有型契約⑥の5種類があり、農業関係者と農業現場で農業関係者が

また、データ等の保管について取り決めた契約がガイドラインに準拠し

の知見が寄与して生成され、記録・保存される情報(データ、画像、ノウハウ等)。

海道北見市)は7日、従来のより深く、表面から70センチまでV字状に幅広く土壌を破碎できる全周心土

表した。同機は、小トラクタや農一ザにも装着力で土中の30

テヌート製を導入

東京都府中市にあるサントリー武蔵野工場のそばにある高野農園は、合計約1.3畧の圃場でミニトマトを中心にトウモロコシ、ブロッコリー、キャベツ、稲作も手掛け、20品目ほどを栽培している。

4年前、ミニトマトを栽培する施設に(株)テヌート(東京都港区南麻布3の20の1 Daiwa麻布テラス5F)のCO2局進装置「コンダクター」を導入し、CO2の局所施用に加えて、Air施を施設全体の3分の1に

相当する4ベット分に導入した。「この4ベットだけで全体の収量の半分を収穫できました。こんな効果があるのかと驚きました」という。

今では、光合成効率促進装置「コンダクター」も設置し、1台の制御盤のまま、低コストで環境制御システムのエリアを拡大した。

当初反収7t程(A品)しかなり過ぎるので、摘

取りは15t位までは収穫できるのですが、今年5、6月にコロナの影響で売り先がなかったのと、全量収穫すると忙

さる。取材に応じてくれたのは高野浩太郎さん(47歳)。家族とパートの方2名の最大6名で農園を切り盛りする。

「本来は15t位までは収穫できるのですが、今年5、6月にコロナの影響で売り先がなかったのと、全量収穫すると忙しいので、半分程度に減らして販売しています。」

統合制御で希少トマト栽培

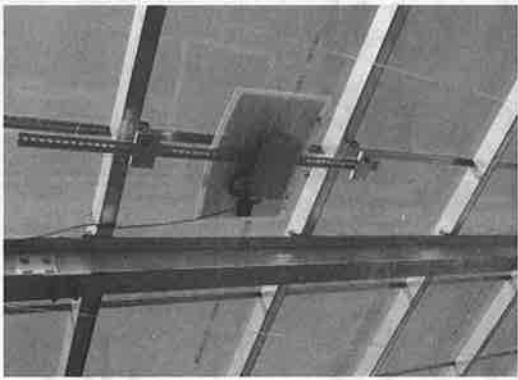
東京都府中市 高野農園・高野浩太郎さん



高野浩太郎さん



新しく導入した無線センサー④とソーラーパネル

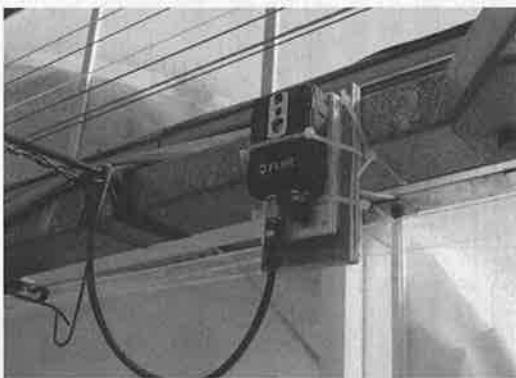


心して収量を抑えました。品質はシステム導入後、最後まで落ちずに収穫できています。粒が大きくても精度が安定しているのが良いですね。そこは本場に満足しています」と述べた。

「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、

高野さんにこれからの展望を聞くと、「ある一定水準の品質を保って出荷したいと思っています。新規の方を100人獲得するよりは、同じ方に100回買っていた方が、相場の左右されずにそこそこ安く同じ値段で、いつでも美味しいと言ってもらえるものを作り続けていきたい」と語った。

「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、



「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、

サーモグラフィカメラで施設内の温度変化を確認できる

「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、

「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、

「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、

「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、

「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、



90歳

山田

全層心土破碎ブレーカ



「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、

「これは、『べにすずめ』という品種で、産地でもあまり作っていません。本来的に美味しい品種なんですけど、棚持ちが悪く、ワレが出たり、カビが生えたりしやすく、遠隔地へ出荷するには不向きなのです。そのため、